

運転代行フロント
front

25

運転代行アスリート
(池松條司代表、神奈川県愛川町)は、パブ・スナック経営から参入した。店の客を優先に配車。運転代行を呼んでも繁忙などで断られる事態が解消し、利便を高めている。2015年6月に設立。随伴車2台。従業員9人。パブ・スナック3店を20年超営業し、客の大半

運転代行アスリート (神奈川県愛川町)



経営するパブスナック店の前で池松代表

パブ・スナック経営から参入

は車で来店する。既存のに集中し、地理的な理由で配車依頼に依りてもらえないケースが多かった。常連客を店から追い出すわけにもいかない」

と必要に迫られ、代行業に乗り出した。

本部事業所と飲食3店舗は近接し、車庫は来店客用の駐車場と同一敷地内にある。1時間前から予約を受け付ける。

飲食経営で培った酔客へのトラブル防止策が強み。従業員教育では丁寧な言葉遣いを重視し、顧客車を預かるドライバーに客の会話内容や利用履歴などの守秘義務を徹底させる。常連客には、行

き先を聞かなくても自宅へ送り届ける気配りも。車庫入れ時は懐中電灯を使い、随伴ドライバーと連係する。

交通量が少ないため、時間当たりの走行距離や客数が都市部よりこなせるようだ。低額な基本料金(初乗り2,150円)でも採算を確保。

全国運転代行協会に加入。随伴車の表示など法令順守を徹底する。各地で生じている料金問題に対し「全国統一の基本料を全連協で定め、加算部分は地域の事情に応じて自由に決めるやり方が良いのでは」と訴える。